

あいちの印刷

4

2024.4
No.629



砺波チューリップ公園（富山県）

もくじ

- 巻頭言「5月11日(土)、12日(日)は星が丘テラスへ！」 3
- 愛知・岐阜・三重・石川・富山各県印刷工業組合、愛知県印刷協同組合主催「第15回ポスターグランプリ」作品募集要項 4
- 分科会報告 中部地区印刷協議会下期会議(愛知県会議) 6
- PICKUP NEWS 8
- 印刷インキ工業会「物流の2024年問題」対策へのご協力依頼について 9
- 全印工連 教育動画サイト「印カレ」新着動画 9
- 新規事業に挑戦する中小・中堅企業を支援する第11回「事業再構築補助金」公募結果 10
- 日本製紙連合会 2024年紙・板紙内需見通し報告 12
- 愛印工組後援 日本印刷産業連合会「下請適正取引の推進に向けた自主行動計画」フォローアップ調査結果について 13
- 今月の本棚 14
- 日本書籍出版協会・日本印刷産業連合会「造本装幀コンクール」作品募集中 14
- 編集だより 14
- 誌上情報展 15

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

「減らす」がつくる、クオリティ **FUJIFILM
SUPERIA**

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフと
バックゲージの速度が向上し、クラン
プ上昇安全機能を搭載。AIとの連携
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

SC
100Z 115Z
137Z
SERIES SCシリーズ断裁機

Safety Speedy Smart



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>
e-mail info@itotec.co.jp



本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

巻頭言

「5月11日(土)、12日(日)は 星が丘テラスへ!」

副理事長 竹倉 幹雄

3月になると、一斉に採用活動が活発になってまいります。

コロナ禍で一時低下した大卒求人倍率も2024卒で1.71倍と大きく上昇傾向となりました。

企業の採用意欲の高まりに加え、人口減少も影響しているのか、採用難の問題をよく耳にします。

弊社でも収益状況は厳しいながら毎年採用活動を行います。肌身に感じるのは、印刷業界から学生が離れていることです。就職先候補の中に入りにくくなってきているのではないかと感じています。

従来の印刷関連業務だけにとどまらず、デジタル領域であったり、マーケティング領域の仕事が増えていることを説明すると、はじめて知りましたという学生が多い。

業界として学生への認知を高めるのであれば、例えばインターンシップを合同でやるなどして、まずは産業として多様性が進んでいることなどを理解いただく必要があるのかもしれない。そして母集団形成の部分に

力を入れないといけないのではないかと感じています。

さて、組合事業として新たに取り組んでいくクリエイターコラボ事業。

いよいよ5月11日(土)12日(日)に星が丘テラスにおいて「ワクワクぷりんと博覧会」として開催されます。初めての試みに、担当委員会のCSR・ブランディング委員会も鈴木委員長を筆頭に慌ただしく準備を進めています。

参加いただく組合員企業は27社、クリエイターは40名。各社各プロジェクトにおいて、長い時間をかけて開発していただいたものを発表し、市場に問うという機会になります。

ぜひ多くの皆様に足を運んでいただいて、各社の取り組みをご覧いただきたいと思えます。

オフィシャルサイトはこちら
<https://www.waku-p.jp/>



 **KONICA MINOLTA**

Giving Shape to Ideas

お客様の可能性を引き出す印刷現場での
働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミナolta ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624

 共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



■愛知・岐阜・三重・石川・富山各県印刷工業組合
愛知県印刷協同組合主催

「第15回ポスターグランプリ」

作品募集要項

愛知・岐阜・三重・石川・富山各県印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合では、第15回ポスターグランプリコンペティションを実施いたします。将来のグラフィックデザイン業界を担う学生・生徒及び一般のデザイナーを対象に作品を募集いたします。印刷業界とデザイン業界の更なる発展を目指してまいります。多くのご応募をお待ちしております。



作品テーマ「いいかげん」

【作品規定】

- 対象／ポスター
- テーマ／「いいかげん」 幅広いジャンル、豊かな発想と斬新な表現のポスター(ビジュアル・キャッチコピーを含む作品)を募集。
- 応募期間／8月19日(月)～9月7日(土) 12時必着
※受付時間は、月曜日～金曜日の9時～12時・13時～17時、但し、9月7日(土)は9時～12時まで。(9月7日以外の土・日は受付いたしません)
- 応募資格／愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県在住、または同5県内の会社、大学(大学院、短期大学を含む)、専門学校、高等学校(高等専門学校を含む)に在籍している個人。
- 応募部門／一般の部(プロ・アマ不問)、大学生・専門学生部の部、高校生の部。
- 応募作品／未発表の作品、1人1点、印刷可能なものに限る。CGまたは手描きによるもので色彩表現は自由。
- サイズ／一般の部…B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て、大学生・専門学生部の部…B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て、高校生の部…B2判、縦型、発泡パネル貼仕立て。

※発泡パネルの厚さは15mm以内。

※作品が剥れないよう、しっかりと貼り付けて提出してください。

●出品料／無料

●応募方法／下記手順に従って提出してください。

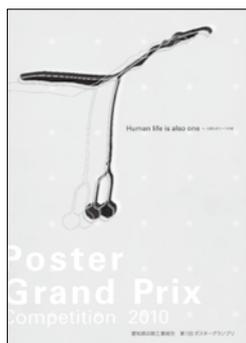
①WEBサイトhttps://ai-in-ko.or.jp/poster-gp_15/にアクセス、②必要事項を入力して「送信」、③登録したメールアドレスに確認メールが届くので、それをA4サイズで出力して、指定の部分を切り取り、応募作品裏面の上部中央に貼付けて提出してください。

【授与賞と副賞】

- グランプリ・中部経済産業局長賞：1名(賞金10万円)
- 優秀賞：[一般の部]愛知県知事賞、岐阜県知事賞2名(賞金2万円)、[大学生・専門学生部の部]三重県知事賞、石川県知事賞2名(賞金2万円)、[高校生の部]富山県知事賞、中日新聞社賞2名(賞金2万円)
- 特別賞：名古屋市長賞、愛知県教育委員会賞、岐阜県教育委員会賞、三重県教育委員会賞、名古屋市教育委員会賞、中部デザイン団体協議会会長賞、(一社)中部広告制作協会賞、全日本印刷工業組合連合会会長賞、愛知県印刷工業組合理事長賞、岐阜県印刷工業組合理事長賞、三重県印刷工業組合理事

■ポスターグランプリ過去の入賞・入選作品 がご覧になれます

ポスターグランプリは次世代の印刷業界を担うデザイナーを育成する目的で、2010年に愛知県印刷工業組合の主催でスタートし、今では岐阜県、三重県、石川県、富山県の中部5



第1回(2010年)



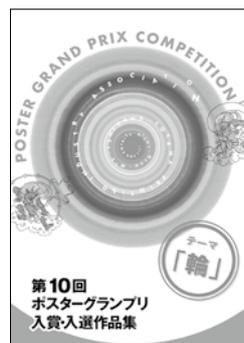
第4回(2013年)



第7回(2016年)



第9回(2018年)



第10回(2019年)

長賞、石川県印刷工業組合理事長賞、富山県印刷工業組合理事長賞各1名(ギフトカード5千円分)。

●協賛会社賞:若干名(ギフトカード5千円分)。

※副賞に加えて、入賞者全員に「入賞・入選作品集」を贈呈します。

※各賞のほか、入選作品(若干名)を選出し、「入賞・入選作品集」を贈呈します。(「入賞・入選作品集」は、2025年1月下旬発行予定)。

【審査】

●主な審査基準／①テーマを的確に表現していること、②ポスター機能としてのメッセージ性に優れていること(キャッチコピーも審査対象)、③斬新な発想とアイデアにより独自の新規性を有すること、④ポスターデザインの観点から、見やすさにおいて優れていること、以上を中心に総合的に勘案し審査します。

●審査委員長／鳥原久資愛知県印刷工業組合理事長

●審査委員／新家春二(株)新家デザイン室代表、安藤誠一郎中部デザイン団体協議会会長、広瀬達也(一社)中部広告制作協会理事長、柳 智賢RYU DESIGN代表、大洞正和岐阜県印刷工業組合理事長、水谷勝也三重県印刷工業組合理事長、小杉善文石川県印刷工業組合理事長、須垣貴雄富山県印刷工業組合理事長、酒井良輔、木村吉伸、田中賢二、箕浦靖夫、竹倉幹雄(以上、愛知県印刷工業組合副理事長)

●審査日／9月中旬

●入賞・入選発表／9月末日

※入賞・入選者は、本人(希望により勤務先・在籍学校)に通知するとともに、愛知・岐阜・三重・石川・富山の各県印刷工業組合ホームページ及び組合広報誌に掲載します。

※入賞・入選作品は「入賞・入選作品展」で展示します。

【その他】

●応募作品に関しての著作権は応募者に属しますが、ポスターグランプリに関する広報・記録に使用する権利は主催者に帰属します。

●応募作品は返却いたしませんので、予めご承知の上ご応募ください。

県の印刷工業組合と共催になりました。過去開催の作品を公開しております。愛知県印刷工業組合のホームページ「入賞・入選作品集」から閲覧して下さい。



第11回(2020年)



第14回(2023年)

お知らせ

■令和6年度前期 「鉛・有機溶剤・特定化学物質取扱者 健康診断(特殊健診)」ご案内

労働安全衛生法において、鉛・有機溶剤・特定化学物質の取扱者に対して、「事業主は原則として、雇い入れ時、当該業務への配置替えの際及びその後6か月以内ごとに1回、定期にそれぞれ特別の健康診断(特殊健診)を実施しなければならない」と義務付けられています。

愛印工組では、組合員企業所属の該当者の皆さんに「特殊健診」を継続して受診していただくために、半年に一度ご案内をしております。化学物質(指定有機溶剤名は送付の書類で確認ください)を使用されている事業所は、該当する従業員の受診を必ず実施されるようお手配ください。なお、検査項目、検査内容、検査費用などの詳細は、健診機関へ問い合わせてください。

■組合がご案内する健診機関

(一社) オリエンタル労働衛生協会
名古屋市千種区今池 1-8-4
TEL052-732-2200、FAX052-733-7100

※貴社特定の健診機関がない場合は上記機関をご利用ください。なお、実施日時、場所については健診機関と貴社とで調整し決定してください。

【応募・問い合わせ先】

愛知県印刷工業組合内ポスターグランプリ係
〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-12メディアージュ愛知1階 TEL052-962-5771 FAX052-951-0569
詳細は、愛知県印刷工業組合ホームページを参照
<https://www.ai-in-ko.or.jp/>

■入賞・入選作品展

【日程】11月6日(水)～11月10日(日):10時～18時
(金曜日20時まで、最終日16時まで)

【会場】愛知県美術館8階ギャラリー展示室E・F(名古屋市東区東桜1-13-2 TEL 052-971-5511)

■入賞者表彰式

【日程】11月10日(日)10時30分～11時30分

【会場】愛知芸術文化センター 12階アールスペースA
(住所、電話は美術館と同じ)。

※アクセス:愛知県美術館は、愛知芸術文化センターにある美術館。【地下鉄】東山線・名城線「栄」駅下車、東改札口からオアシス21経由、徒歩3分、【名古屋鉄道】瀬戸線「栄町」駅下車、オアシス21経由、徒歩3分、【車】名古屋高速都心環状線「東新町」出口から3分。駐車場アートパーク東海。

■中部地区印刷協議会下期会議(愛知県会議)

分科会報告

■経営革新マーケティング■環境労務

■組織共済■教育研修■取引公正化

■理事長会■事務局会議

中部地区印刷協議会下期会議(愛知県会議)が、2月16日名古屋市中区のホテルメルパルク名古屋において開催され、先月号では全体会議のもようを報告した。今月号では、各分科会報告をお知らせする。

■経営革新マーケティング分科会(笥田公生委員長・富山県)

経営革新支援事業では、MISの導入、啓発のため、昨年9月に新潟県工組でMISの必要性と「BRAIN(ブレイン)」の概要について説明会が行われた。

「新・勝ち残り合宿ゼミ」は、2月22日、23日の2日間、石川県にある榊笠製本印刷の田上裕之社長を講師に開催。

事業承継・事業継続支援事業では、事業承継支援センターの利用状況を報告。契約件数は24件、内訳は事業承継支援3件、M&A支援13件、その他8件であった。

マーケティング支援事業では、共創ネットワーク通信は2月から組員同士の協力会社を作るためのプラットフォームとしてリニューアルされている。自社製品などのPR記事を全国の約4,000社の組員に発信できるメールマガジン、およびWeb掲載サービスがある(組員は無料)。

■環境労務分科会(小川優二委員長・岐阜県)

パワーハラスメントが職場では大きな問題になっている。ちょっとしたことでハラスメントになってしまい、ハラスメントは訴えた側の見方のような風潮がある。また最近では、顧客からのクレームや言動に関するカスタマーハラスメントについても問題視されており、クレームを通り越して嫌がらせに及ぶこともある。職場のパワーハラスメントでは、働く人が何でも話することができる環境、社内に男性・女性それぞれに相談できる人格者を置くことで、大事になる前に対処することが必要になる。カスタマーハラスメントについては、何でも謝罪するのではなく、非があるところは真摯に受け止め、まじめに謝罪をする。また一人で対応するのではなく複数人で対応することが望まれる。

環境関連法規については、いま一度見直すことが必要。特に騒音規制法については盲点があり、自社の工場が規制区域



教育研修分科会

に入っているか確認をする。もし規制区域に入っていたら、機械の更新、増設の届が出されているか、また、代表者の変更が行なわれているかなど、しっかりと届け出る。

印刷業も職長教育が昨年の4月から対象業種になった。愛知県は鳥原理事長を講師に2回開催をしている。

■組織共済分科会(北川毅委員長・愛知県)

クラウドバックアップサービスの加入状況は、富山と石川が各1社。目標は各県1社。

BCP(事業継続計画)対策の推進では、策定した防災・減災の事前対策に関する計画が経済産業大臣に「事業継続力強化計画」に認定されると、税制措置や金融支援、補助金の加点などの支援がある。

生命共済PR動画は全印工連の教育動画サイト「印カレ」にアップされている。介護保険料の値上げについて、2024年7月より介護保険料の値上げの改定の要望があった。生命共済への未加入者には、訪問とかケアを行ない、重要な部分をしっかりと伝えて増加を達成したい。富山では、ライフピアの加入者数は2,000名を超え60%位達成している。今でも増加中である。ライフピアの重点工組として、愛知、石川、岐阜が決まった。

■教育研修分科会(田中逸郎委員長・石川県)

印カレラーニングの契約状況は199アカウントになり、目標の100+αアカウントの2倍弱の達成になった。

印カレの動画には、1月10日に愛知県工組の新年互礼会で、石川県工組の小杉善文理事長が「創発型経営の実践」と題した講演を行なった。この講演もアップされる予定である。

技能検定「プリプレス職種DTP作業」の今年の実検者数が82名(1級36名、2級46名)で100名を切った。この状況が続くと、検定として存続できない状況になるので、どのようにするか協議をした。検定がいるかいないかの話では、中部



笥田公生委員長



小川優二委員長



北川毅委員長



田中逸郎委員長



伊藤誠司委員長



環境労務分科会

の皆さんは必要としている。この中部の受検者数が多いのは岐阜県が中心となっており、その波及効果が大きい。中部での成功事例を他の地区にも伝播させていく方法もある。

■取引公正化分科会(伊藤誠司委員長・三重県)

2月14日に行なわれた官公需対策協議会では、「知的財産権と最低制限価格制度」をテーマに、第7回全国協議会を池袋サンシャインシティで開催し27名が参加した。全国協議会の官公需対策協議会幹事会特別委員の白子欽也氏によるセミナーと、最低制限価格制度をテーマに参加者が4グループに分れて、テーブルのディスカッションを行なった。セミナーでは、知的財産権は譲渡から許諾に変わってきた。発注者は知的財産権を譲り受けず、受注者に帰属させる「コンテンツ版バイ・ドール契約」活用が推奨された。また、全国の県庁での最低制限価格の導入は20都道府県である。

■理事会(須垣貴雄理事長・富山県)

2期4年で東京・大阪・愛知の理事長が交代する。東京は瀬田章弘副会長が次期会長候補として名前が挙がっている。地区協の各県から出す委員会の委員長が各地区を回っていると、全く委員会に縁のない人が全印工連に出向しており、折角の良い情報が地区協に降りてこないという問題が、他の地区協では結構ある。瀬田次期会長候補の考えでは、その辺の情報をスムーズに地区協に落としたいという気持ちがあり、各県からこの委員長であれば間違いなく全国とのパイプ役になるという候補を上げてくれるように事前確認をしている。

中部地区協の次期委員会の構成は、経営革新マーケティング委員会：富山県、環境労務委員会：三重県、組織共済委員会：愛知県、教育研修委員会：岐阜県、取引公正化委員会：石川県に決定した。



須垣貴雄理事長

西川幸洋事務局長

全印工連機関誌「日本の印刷」が完全リニューアルされる。

■事務局会議(西川幸洋事務局長・石川県)

愛知県工組からは今年で15回目を迎えるポスターグランプリについて、岐阜県工組からは委員会事業の事務局サポートについて、三重県工組からは電磁情報保存法、インボイスなどについて、富山県工組からは各県事務局の連携と業務の効率化について、石川県工組からは令和6年元日にあった能登半島地震の義援金などに関する税法上の問題などの報告があり、各県の状況を共有した。

中部地区印刷協議会<令和5年度下期会議>



【一部既報】中部地区印刷協議会(大洞正和会長)下期会議には、愛知・岐阜・三重・富山・石川の中部5県の印刷工業組合から、執行部、役員など52名が参加。全印工連からは滝澤光正会長、鳥原久資副会長、池尻淳一専務理事、富沢隆久常務理事が出席した。席上、大洞会長は全印工連会長を2期4年間務めた滝澤会長の労をねぎらい、「滝澤丸は4年の船旅を終えてまもなく寄港する。今日は最後の地区協に来ていただいた。長い間ご苦労様でした」と感謝を述べた。

高精細印刷とPUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷 検索

盛功社の創業は1889年。2023年に135周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいすえとして
新たな未来へ羽ばたきます。

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

PICKUP NEWS

■日印産連

印刷製品のGP認定「グリーン基準」改訂

購入資材・用紙の対応幅が広がる

一般社団法人日本印刷産業連合会（日印産連、北島義斉会長）は、環境に配慮した印刷工場・事業所、印刷製品、印刷用資材を認定するグリーンプリンティング（GP）認定制度を運営しているが、この程、印刷製品のGP認定に関わるグリーン基準の一部を改定した。

2023年12月22日、国及び国などによる環境物品などの調達の推進などに関する法律（グリーン購入法）に基づき、環境負荷の低減に資する原材料、部品、製品及び役務の調達を、総合的かつ計画的に推進するための基本的事項を定める基本方針（「環境物品などの調達の推進に関する基本方針」）が閣議決定された。この中で、「塗工されていない印刷用紙、塗工されている印刷用紙」に関して、古紙パルプ配合率の最低保証の撤廃、管理木材パルプの重み付けの設定（古紙・森林認証材・間伐材などパルプとその他の持続可能性を目指したパルプの中間の評価）、管理木材パルプを含めた5種類のパルプのみ使用可、総合評価を70以上から80以上へ引き上げが行なわれた。

これを受けて、日印産連の「オフセット印刷サービス」グリーン基準及び「スクリーン印刷サービス」グリーン基準についてもグリーン購入法に準じた改定を2024年2月20日付で実施した。

※各グリーン基準は日印産連ホームページ参照。

■全国出版協会・出版科学研究所

2023年の出版市場

紙＋電子2.1%減の1兆5,963億円

出版業界の調査期間である公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所（浅野純次理事長）では、2023年（1から12月期累計）の出版市場規模を「季刊 出版指標」2024年冬号で発表した。紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、前年比2.1%減の1兆5,963億円。2年連続の前年割れとなった。内訳は、紙の出版が同6.0%減、電子出版が同6.7%増。紙の出版は書籍、雑誌ともマイナス。電子出版は、電子コミックはプラスであったがそれ以外は減少した。

□紙の出版物市場は1兆612億円、書籍は4.7%減、雑誌は7.9%減

2023年の紙の出版物（書籍・雑誌）の推定販売金額は前年比6.0%減の1兆612億円。内訳は、書籍が同4.7%減の6,194億円、雑誌が同7.9%減の4,418億円。書籍は文芸・学参のジャンルは健闘したものの全体では減少した。雑誌は月刊誌（ムック、コミックス含む）が同7.2%減の3,728億円、週刊誌が同11.3%減の690億円。月刊誌の内訳は定期誌が約5%減、ムックが約7%減、コミックス（単行本）が約10%減。創復刊

点数は過去最低の25点。「週刊朝日」など歴史ある雑誌が次々と休刊、刊行変更や合併号で刊行本数を減らす動きも目立った。コミックスは映像化作品を中心に新たなヒット作品が生まれているものの、前年の規模を大きく下回った。

□電子出版市場は5,351億円、電子コミックは7.8%増、電子書籍は1.3%減

2023年の電子出版市場は同6.7%増の5,351億円。内訳は、電子コミックが同7.8%増の4,830億円、電子書籍が同1.3%減の440億円、電子雑誌が同8.0%減の81億円であった。電子コミックは各ストアの広告出稿や活発な施策で堅調を維持し、シェアが電子出版全体の9割に達した。縦スクロールコミックも好調。電子書籍はライトノベルや写真集は比較的好調であるが、文芸やビジネス書、実用書などは不振。電子雑誌の減少幅はゆるやかになったが、占有の高い定期読み放題サービス「dマガジン」の会員数は減少。

■中小企業など事業再構築促進事業を再編

中小企業省力化投資補助事業

—カタログ型省力化補助金—

新規事業に挑戦する中小・中堅企業を支援してきた「事業再構築補助金」に代わり、新たにこの制度を再編し「中小企業省力化投資補助事業」が創設された。

事業内容については、「中小企業など事業再構築促進基金を用いて、これまで実施してきたポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための新市場進出、事業・業種転換、事業再編といった取り組みを通じた規模の拡大など、企業の思い切った事業再構築の支援については必要な見直しを行なう」としている。また、事業目的については、「中小企業などの売り上げ拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業などに対して、省力化投資を支援する。これにより中小企業などの付加価値額や生産性向上を図り、賃上げに繋げることを目的とする」と、主旨も大きく変更されている。

では、事業概要はどうなるか、「IoT、ロボットなどの人手不足解消に効果がある汎用製品を『カタログ』に掲載し、そこから選択して導入できるようにすることで、簡易で即効性のある省力化投資を促進する」ことが示されている。このことからこの事業は、別名カタログ型省力化補助金と呼ばれ、事業者の省力化を促す産業用ロボットなどの製品がカタログに登録され、その登録されている製品の中から自社で導入する機器を選択することになる。あらかじめ選択肢が決められているので手間が省け、申請に向けた準備の煩雑さや審査期間の長いことが軽減されるメリットがあるとされている。

中小企業省力化投資補助事業の補助上限額は、従業員数5名以下200万円（300万円）、従業員数6～20名500万円（750万円）、従業員数21名以上1,000万円（1,500万円）、補助率1/2。 ※（ ）は、賃上げ要件を達成した場合。

この事業の具体的なスケジュールはまだ公開されていないが、新年度が始まる4月以降には明らかにされるものと思われるので、公表され次第ご紹介したい。

「物流の2024年問題」対策への ご協力依頼について

印刷インキ工業会

平素より、印刷インキ工業会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

物流は国民生活や経済活動を支える社会インフラですが、物流現場では担い手の不足が深刻化しており、労働環境の改善が急務となっています。このため、2024年度からトラックドライバーへの時間外労働の上限規制などが適用されるなど、働き方改革に向けた取り組みが進んでおりますが、労働時間削減のための具体的な対応が適切に行なわれなかった場合には、輸送能力が不足する可能性が懸念されています。

※「物流の2024年問題」

物流需要は荷主による受発注により発生するものであり、出荷・入荷の条件決定には荷主が大きく関わっています。また、貨物の積み下ろしに伴う長時間の荷待ち時間や、契約にない付帯作業への対応などの慣行が、トラックドライバーの長時間労働など、労働環境の悪化の一因となっており、付帯

※印刷インキ工業会「物流の2024年問題対策」

印刷インキ工業会（北川克己会長）は、「物流の2024年問題対策」として、関係各方面に協力依頼をお願いしており、当組合にも全日本印刷工業組合連合会を通じて案内がありましたので紹介します。

作業を含めた「標準的な料金」の収受、荷積み・荷下ろしに係る荷待ち時間の削減、共同輸送などの効率的な輸送の実現には、荷主の積極的な取り組みが重要となります。そして、この「物流の2024年問題」へ適切に対応することは、荷主業界団体・事業者の皆様ご自身の安定性を維持することに加え、深刻な法律問題やレピュテーションリスクに発展する可能性をも排除することにも繋がるため、当工業会会員各社がそれぞれ対処すべき喫緊の課題であり、法令順守は各社に共通する最優先事項となります。こうした観点からも、安定的な物流を維持していくためには、荷主の協力による物流リソースの効果的な活用が不可欠であり、当工業会会員各社におきましても「ホワイト物流」自主行動宣言に基づいて、今後、適正な運賃・料金の収受、受注時間の前倒し、荷待ち時間の削減など、物流改善に向けた取り組みを一層重視し、より積極的に推進してまいります。

荷主業界団体・事業者の皆様におかれましては、下記資料をご参照の上、物流の効率化に向けた取り組みについて、ご理解・ご協力をいただけますようお願いいたします。

※資料

- トラック運送サービスを持続的に提供可能とするためのガイドライン（厚労省、国交省、経産省、農水省）
- 物流革新緊急パッケージ（内閣府）
- 運送委託者の方へのお知らせ（国交省）
- 荷主のための物流改善パンフレット（厚労省）
- 物流特殊指定（公正取引委員会）
- ホワイト物流推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

■全印工連

教育動画サイト「印カレ」新着動画

愛印工組新年互礼会新春講演

全日本印刷工業組合連合会（全印工連）では、教育動画サイト「印カレ～全印工連の学んで得るTV～」を配信し、組合員に学びの場を提供している。

今回、愛知県印刷工業組合（愛印工組）が1月10日に開催した新年互礼会の席上、新春講演会を開催した。講演会は、第1部「創発型経営の実践」をテーマに、小杉善文石川県印刷工業組合理事長（株金沢シール社長）が講師を務めた。また、第2部では、小杉理事長と愛印工組の鳥原久資理事長（株マルワ社長）とで「対談」が行なわれた。

この講演と対談の内容を「印カレ」で配信しており、以下のアドレスより視聴ができる。<https://printing-college.com/>

□「印カレ」コンテンツ新着動画の紹介

教育動画サイト「印カレ」では、定期的に新着動画をアップロードしており、コンテンツの拡充を図っている。最新の新着動画を以下に紹介する。

①これからの印刷業のあり方。

教育研修委員会の特別委員を務める宮本氏がこれからの印刷業の在り方について話す。

②クリエイティブワークをもう少しだけ深掘りしておきたい方のための「私が現場で学んできた、クリエイティブワークの基本アプローチ」。

経済調査会発行の専門誌「積算資料・印刷料金」が主催する「印刷関連サービス積算体系検討委員会」の成果として同誌に掲載されている「クリエイティブワーク」から集約。

③DX-PLATの画面を使った受発注の流れ解説。

本動画では、冒頭にDX-PLATの①組合員間受発注システム（JSP）、②生産管理システム（JWS）、③クラウドコネクターの説明を行ない、その後、受発注ワークフロー、作業手順の解説を行なっている。

④自社のホームページで売り上げを伸ばすPart1（基礎編）～Part4（分析編）。

Part1：デジタルマーケティングの知識編として、オウンドメディアを中心に用語や構造を解説。Part2：オウンドメディアの運営に向けたHPの構築・リニューアルについて解説。Part3：オウンドメディアでの集客のカギとなる「SEO対策」について解説。Part4：オウンドメディアの運営に必要な「自社サイトの分析手法」について解説。

第11回「事業再構築補助金」公募結果

応募件数9,207件、採択件数2,437件、採択率26%

経済産業省は「事業再構築補助金」第11回公募結果を公表した。今回は、応募件数9,207件、採択件数2,437件（採択率26%）であった。採択企業の中から印刷関連企業をピックアップし、どのような新規事業に挑戦しようとしているのか、その計画を拝見してみた。

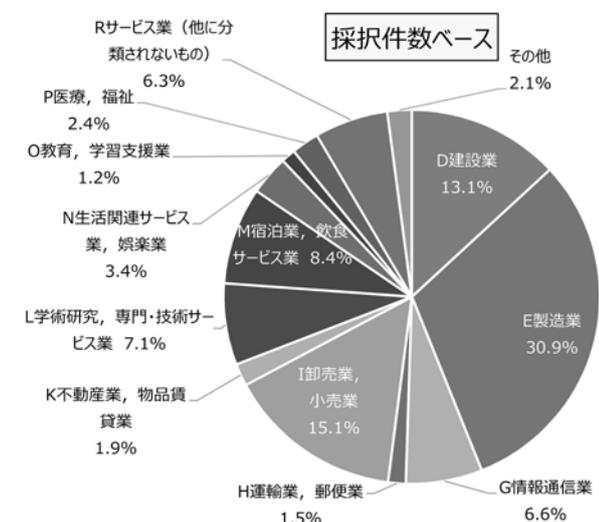
■第11回公募の応募と採択結果

第11回事業再構築補助金の応募件数は9,207件、採択件数は2,437件（採択率26%）となった。採択内容を見てみると、「成長枠」への応募件数2,508件、採択件数698件、以下、「グリーン成長枠」597件、同187件、「産業構造転換枠」242件、同53件、「最低賃金枠」189件、同48件、「物価高騰対策・回復再生応援枠」5,671件、同1,451件であった。

業種別の採択割合については、応募件数ベースでは、製造業19.7%、卸売業、小売業16.1%、建設業13.5%、宿泊業、飲食サービス業11.5%、生活関連サービス業、娯楽業7.0%となった。一方、採択件数ベースでは、製造業30.9%、卸売業、小売業15.1%、建設業13.1%、宿泊業、飲食サービス業8.4%となった。

各都道府県別の応募件数（採択件数）を多い順にみると、東京1,675件（448件）、大阪955件（265件）、愛知713件（208件）、兵庫440件（108件）、神奈川380件（92件）、福岡362件（88件）、京都312件（75件）、埼玉272件（76件）、静岡270件（74件）となった。

応募金額及び採択金額の分布を1,500万円単位で分析すると、100～1,500万円が最も多く、全体の6割以上を占めて



なお、事業再構築補助金は現時点では第12回公募を残すのみである。それ以降については、経済産業省の予算要求の中に事業再構築補助金が含まれているため、令和6年度も実施される見通しであるが、ただ、これまでの事業再構築補助金とは大幅に枠組みが変更されるようである。

いる。次いで、1,501～3,000万円が2.7割以上となっている。また、2,000万円までの金額で応募された案件は全体の約8割を占め、2,000万円以上の金額で応募された案件は分散している。

認定支援機関別応募状況を分析すると、金融機関が約2,600件で最も多く、次いで、税理士関係が1,600件、商工会・商工会議所が約900件となっている。

■第11回事業再構築補助金採択企業

<印刷関連企業抜粋>

■株式会社キョウシン（愛知県名古屋市中区）

事業計画名：衛生資材加工の強みを活かした、新たな展開による高付加価値の軟包装材業界への貢献事業

介護、高齢者向けにスタンドチャック防臭、消臭袋を開発・製造する。健康食品・ペットフード等の包装材として使用される高機能フィルムを使用した包装材の製造に取り組む。介護市場・健康食品・ペット関連市場。高齢化によって拡大する介護市場、新型コロナウイルスにおける健康志向とペット需要の高まりで拡大した市場への展開を図る。介護用品、健康食品、ペット用品メーカーとそれらの包材を扱う印刷会社を主な対象顧客とする。

■美陽シール（愛知県豊橋市）

事業計画名：音にこだわるオーディオカフェ設置による事業再構築

シール印刷を主業務とする印刷業者で、感染症や物価高騰の影響を受けて物流量が低下して売上が激減した。代表者のオーディオ装置製作技術と事業承継予定者の調理師資格を活かしたカフェを新設して事業再構築を目指す。

■タカラ印刷株式会社（福島県福島市）

事業計画名：パッケージ生産事業への事業再構築

本事業では新たにキャラクターグッズ等のパッケージ印刷・製函（箱の形に組み立てること）・封入（商品を箱に入れること）に新たに取り組む、事業の再構築を図る。

■関東図書株式会社（埼玉県さいたま市）

事業計画名：老舗印刷会社のマーケティング支援とBtoC

マーケットへの参入

従来の「紙」への印刷ではなく、アクリル素材やプラスチックなど、紙以外の素材に印刷をする「作る」を基軸とした事業への展開。紙以外の印刷物を活かしたマーケティングサポート分野への進出。

■泰輝印刷(株)(東京都板橋区)

事業計画名:同人誌印刷の一貫体制構築でWeb to Print事業へ参入

小ロット印刷の社内一貫体制を構築し、縮小する印刷市場の中でも成長が見込まれるWeb to Print事業へ参入する。自社の印刷技術や特殊加工の強みを活かせる同人誌印刷から参入し、V字回復を実現する。

■協英印刷工業(株)(東京都町田市)

事業計画名:お手軽ラベルシール印刷事業

本事業では①バリアブルソフト②自動見当装置付きオンデマンドプリンター③新型計数機の3つを導入することにより、当社の強みである企画力と合わせて誰でもどんな企業でも手軽にラベルシールが注文でき、短納期でお届けすることで地域社会の活性化に貢献する事業である。

■株エル・ティー・シー(静岡県磐田市)

事業計画名:オリジナルグッズの製作・販売、「下請け」からの脱却

当社は、メニュー表印刷・ラミネート加工などを主要事業としているが、利益率が低迷していること、課題として「脱下請」の意識が強くなっている。そのため新たな事業である、ご当地キャラや、国内クリエイターの創作を用いたオリジナルグッズを製作し、一般消費者向けに販売を行なっていくことを計画した。これにより利益確保を安定・改善し、事業体を維持・成長させていくことで、当社の中長期的な成長戦略を成し遂げていきたい。

■有Farm Security(大阪府大阪市)

事業計画名:デジタル加飾印刷機を使用した高付加価値ワンストップ印刷サービス

独自性や特別感が表現できる特殊なデジタル加飾印刷機導入により付加価値の高い印刷サービスを提供する。飲食・接客業に勤務するスタッフは、他とは差別化できる名刺を求めている。当社の撮影からデザイン、印刷までワンストップで対応できる強みを活かし、人物を撮影、人物の写真と加飾要素を入れて名刺をデザインし、加飾印刷して納品するというサービスを提供する。

■株今井広告研究所(大阪府大阪市)

事業計画名:弊社独自のレンチキュラー技術を活かした高付加価値サイン製品の開発・製造事業

既存事業で培ってきた印刷技術、デザイン構築力を活かし、弊社独自のレンチキュラー技術等と最新のUV印刷機を導入することで、店の所在や個性がアピールできるサイン商品の開発・製造・販売を行なう。製造には、一貫体制を図る生産ラインを構築し、主に飲食店等の店舗向けに拡販することで、業績のV字回復を図る。

■有土屋総合印刷(和歌山県和歌山市)

事業計画名:日本の伝統とポップカルチャーの融合でインバウンド市場を開拓

「和紙」を伝統技術の「水引の紐(ひも)」で綴じた「御朱印帳」に、日本のポップカルチャーのひとつである「キャラクターのイラスト」と、日本のマナーや神社仏閣などの情報が得られるデジタルコンテンツに繋がる「QRコード」を掲載した訪日外国人観光客向けの「GO!Syuin-cho」(商品名)を製造販売する。

■株内外プロセス(岡山県岡山市)

事業計画名:バリアブル印刷～発送まで!ワンストップサービスへの新分野展開

製版業を行っていた事業者が、高画質画像バリアブル印刷のワンストップサービスの提供という新事業に取り組み、5年後に売上高106百万円を目指す。

■株コピー愛媛(愛媛県松山市)

事業計画名:楽しいが溢れる、わくわくを感じられる体験型プリントショップ

「体験型のプリントショップ」事業を行なう。通常のコピー機はもちろん、Tシャツへの印字が可能な印刷機、いろいろな素材に刻印ができるレーザー加工機などの工作機を取り揃え様々な創作活動を支援する。

■株東洋企画印刷(沖縄県糸満市)

事業計画名:企画力・マーケティング力を生かしたパッケージおよびノベルティ制作

パッケージ・ノベルティを企画から生産までワンストップで提供する。土産物などで使われるパッケージを企画から生産までワンストップで提供・当社のマーケティング能力を生かし「売れる」パッケージを制作。他社では手掛けない小ロットの生産も対応・多彩なノベルティにも対応し、イベントグッズ等も手掛ける。



meikami
メイカミ
〒461-0018名古屋市中村区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418



創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。.....
デザイン~印刷まで
トータルサポート
お気軽にお問合せ下さい。
..... カラー印刷全般

株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL(052)482-3117(代表)
FAX(052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

2024年紙・板紙内需見通し報告

日本製紙連合会から、「2024年紙・板紙内需見通し報告」が発表された。報告では、内需見通しのプラス要因として、①景気の穏やかな回復基調（賃上げによる個人消費の拡大、インバウンド需要の増加）、②電気・機械関連需要の回復、③ネット通販などECの拡大、④脱プラ・減プラによる紙化の動き、⑤衛生意識の定着を挙げる。一方、マイナス要因として、①人口減少／少子高齢化／人手不足、②物流2024問題、③景気下

振れリスク、④デジタル化の加速（新聞・書籍・雑誌発行部数の減少、企業や自治体など使用量の減少、ペーパーレス化）、⑤包装様式の変化（省包装／簡易包装／軽量化／封筒需要の減少）などを挙げる。前号では、グラフィック用紙について報告したので、今号ではパッケージング用紙についてピックアップし紹介する。

2024年 主要品種別内需見通し

パッケージング用紙

2年連続でコロナ禍の水準を下回る

☆パッケージング用紙の内需は、2010年以降、コロナ禍の2020年を除いては比較的堅調に推移している。2023年は諸物価高騰による消費マインドの低下などにより、包装用紙、段ボール原紙、白板紙ともに前年を下回り、内需は5.0%減と、3年ぶりに前年を下回った。

☆段ボール原紙は、軽量化などは懸念されるが、加工食品向けやネット通販向けの増加などにより前年並みを予想。白板紙も省包装化などはあるものの、人流増を背景とした化粧品向けや医薬品向けの増加でほぼ前年並み。一方、包装用紙は省包装・簡易包装化などによりマイナスを予想。

☆品種別の見通しは、パッケージング用紙は合計で1,230万トン、前年比0.2%減となる。包装用紙が2.0%減、段ボール原紙が0.2%増、白板紙が0.6%減。パッケージング用紙は、2年連続のマイナスとなる見通し。また、2019年比では6.7%減、過去のピークだった1997年に対しては、8割強の

水準となる。

☆四半期別では、年後半の7-9月、10-12月がプラスで推移すると予想。特に前半が低水準だった7-9月では、プラス幅が比較的高くなる見通し。

□包装用紙

☆包装用紙の内需は、コロナ禍の2020年に大幅なマイナスを記録した後、穏やかな回復に転じた。2023年は、重包装向け、軽包装向けともに包装資材の削減に加え、物価高騰などによる消費者の買い控えなど需要家・小売業者の在庫調整の長期化で、内需は9.0%減と3年ぶりに前年を下回った。

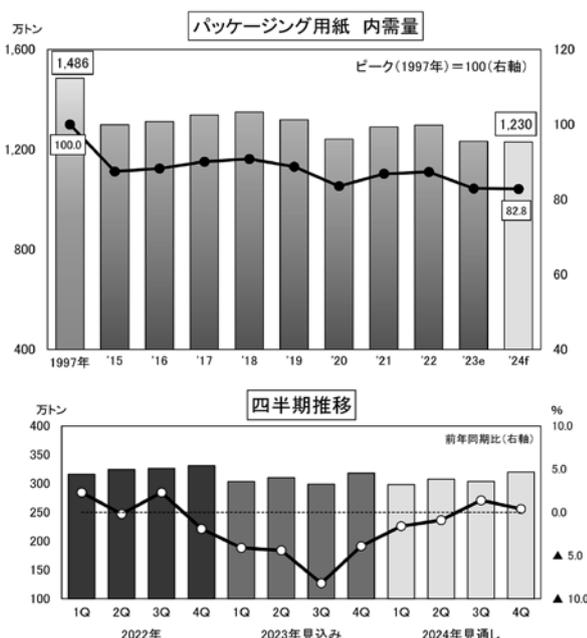
☆需要家のコストダウン強化による包装資材の削減によりマイナスを予想。重包装向けでは、合成樹脂などの産業関連向けは回復が期待されるが、フードロス対策やフレコン化、需要家からの低坪量化や減層化の要請によりマイナス。軽包装向けでは、マイバックの定着や紙袋の有料化などにより前年を下回る。加工用途では、封筒向けは郵便料金の改定などにより大幅減が見込まれるが、工業製品向け、食品包装向けを中心に堅調に推移する。なお、脱プラ、減プラによる需要の押し上げ効果は限定的。

☆包装用紙の内需は61万トン、前年比2.0%減を見込んだ。2年連続のマイナスとなる見通し。2019年比では、13.0%減。過去のピークだった1990年に対し約5割の水準となる。

□段ボール原紙

☆段ボール原紙の内需は、2020年のコロナ禍においても巣ごもり需要などに支えられ、他の品種に比べて影響は軽微で、その後も飲料を含む加工食品向けを中心に増加傾向で推移している。2023年は、半導体などの部品不足の解消遅れなどで電気・機械器具向けがマイナス。主力の加工食品向けも物価高による消費マインドの低下により低調に推移し、内需は4.0%減と、前年の微増プラスからマイナスとなり、ほぼコロナ禍の水準となった（2020年比0.2%減）。

☆全国段ボール箱工業組合連合会の需要予測によれば、段ボールシートの生産は0.5%増。主要分野のうち、需要の約4割を占める加工食品向けでは、物価高による消費マインドの低下の一巡や人流増に伴う飲料関係の回復が見込まれる。青果物向けも猛暑による大幅な落ち込みからの回復を見込んで



愛印工組後援

日本印刷産業連合会

「下請適正取引の推進に向けた自主行動計画」 フォローアップ調査結果について

日本印刷産業連合会(日印産連)は、「下請適正取引の推進に向けた自主行動計画」を会員10団体と協議を重ね、2022年3月に策定した。今回、印刷業界としては二度目となる「自主行動計画に係るフォローアップ調査」を実施。3月8日開催された中小企業庁主催の「中小企業政策審議会 取引問題小委員会」にその結果が報告された。

調査は、令和5年11月7日～12月6日、日印産連の会員10団体に加盟する会員企業6,371社の内1,664社を対象に行ない、323社から回答を得た(回答率19.4%)。

【概観】

■「合理的な価格決定」は、労務費、原材料費価格、エネルギー価格の反映状況について、「概ね反映した」と答えた企業の割合が、発注側・受注側とも全項目で前年実績を大きく上回った。費目別にみると労務費、エネルギー価格は5割を下回っており、価格転嫁が十分ではない。

■「不合理な原価低減要請」は、受注側において「受けたことはない」との回答が85.1%。

■「支払い条件」は、「全て現金払い」の割合が、発注側では前年度から微増。受注側では14%増加している。

■「手形等サイト60日以内」について、発注側・受注側とも前年度から10ポイント以上改善しているが、60日超の手形が発注側・受注側とも6割を超えている。

■「手形サイトの短縮」は、現在60日を超えるサイトの手形などを利用している会社のうち、56%が60日以内への短縮を予定・実施している一方、44%の会社は変更予定なしの回答。

■「約束手形の廃止」は、前年度同様9割弱の会社が廃止を予定している。

■「型取引」は、取引条件の明確化では約5割、量産終了後の型の保管費用の支払いでは、約6割で実施されておらず、改善が求められる。

■「知的財産」は、販売先から受けたことのある行為について、「特になし」が8割を超えた。

■「働き方改革への対応」については、8割強の会社が「影響はない」と回答。

※フォローアップ調査結果は次号に詳報予定。

いる。電気・機械器具向けは、半導体不足の解消や住宅関連の緩やかな需要増。通販・宅配向けは、伸び率は鈍化も堅調に推移すると予測。段ボール原紙は、これらの需要予測および直近の軽量化、需要家によるコストダウンの強化も考慮し、段ボールシートよりも若干低い伸びになると予想した。

☆段ボール原紙の内需は882万トン、前年比0.2%増を見込んだ。前年並みだが2年ぶりのプラスとなる見通し。また、2019年比では3.8%減、過去のピークだった1997年に対しては9割強の水準となる。

□白板紙

☆白板紙の内需は、コロナ禍の2020年に前年比9.1%減と大幅なマイナスを記録した後、緩やかな回復に転じたが2023年は主要分野の食品向けを中心に、相次ぐ製品値上げによる消費者の買い控え、それともなう食品メーカーなどのユーザーの在庫調整の長期化により、5.8%減と3年ぶりに前年を下回った。

☆インバウンドの増加などの人流増を背景に、化粧品、医薬品向けは引き続き堅調。各種イベント・キャンペーン向けPOPなどの商業印刷向けの回復も期待されるほか、消費者の買い控えも一巡し、緩やかに改善するとみられるが、その一方で出版向けの不振や前年好調であったトレーディングカードの一巡、物流問題などの諸々コスト高による需要家の包装資材削減(省包装化)などにより、前年を僅かに下回ると予想。脱プラ・減プラ需要は、食品トレーの切り替えなどの動きも見られるが、押し上げ効果は限定的。

☆白板紙の内需は165万トン、前年比0.6%減を見込んだ。2年連続のマイナスとなる見通し。2019年比では9.7%減。過去のピークだった2000年に対しては、約8割の水準。

□衛生用紙

2年連続マイナス。物流問題を背景にコンパクト化加速

☆衛生用紙の内需は、人口の減少などの構造的な要因はあるもの、生活必需品として需要は底堅く、比較的堅調に推移している。2023年は、物価高などによる消費者の買い控えや製品のコンパクト化が進んだ結果、内需は1.9%減と、過去最高を記録した2022年を僅かに下回った。

☆インバウンドの増加により宿泊施設などの業務用向けは引き続き増加し、消費者の買い控えも緩やかに改善する一方で、物流問題を背景とした物流効率の改善に加え、利便性の向上、環境負荷の軽減などを目的とした形状をコンパクト化した製品へのシフトが加速すると見られ、重量ベースでは前年を下回ると予測。具体的には、トイレトーパーは長尺化やロール幅の縮小(サイズダウン)、坪量ダウンなどの動きが進み、ティシュペーパーではソフトパックが拡大し、タオル用紙ではハンドドライヤーの復活などもあり、ペーパータオルを中心に減少すると予想。

☆衛生用紙の内需は200万トン、前年比2.5%減を見込んだ。2年連続のマイナスとなる見通し。2019年比では2.6%減。過去のピークだった2022年に対して9割台半ばの水準。

※「2024年紙・板紙内需見通し報告」は、日本製紙連合会のホームページから検索できる。

※日本製紙連合会：〒104-8139東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館 TEL03-3248-4801 <https://www.jpagr.jp>

今月の本棚



経済調査会

「積算資料 印刷料金2024年版」

印刷発注実務&費用積算の決定版

一般財団法人経済調査会では、「積算資料 印刷料金 2024年版」を刊行した。同誌は、印刷物受発注における見積り・

積算資料、チェック資料として活用されている価格情報誌。印刷物の種類別（一般印刷、名刺・はがき・封筒印刷、フォーム印刷、Web制作など）に、その積算体系を構成する工程項目ごとの料金と、その算出方法や積算事例、製本料金、用紙価格なども掲載している。印刷に関わる全ての人の実務書となっている。

印刷発注実務&費用積算の決定版として、①各種印刷物の見積り・積算のために工程に沿った料金と算出法を掲載、②仕様書作成に必要な情報や書式サンプルなど、印刷発注に役立つ情報充実、③官公需における印刷物に関わる知的財産権について、④クリエイティブワークの見積り事例調査結果、⑤印刷関連サービス積算検討委員会の活動報告、などが取り上げられている。

経済調査会は「いんさつ Plaza」を開設、下記、ホームページで印刷に関する様々な情報を提供している。（<https://www.insatsu-plaza.net/>）

□積算資料 印刷料金 2024

□経済調査会編集/体裁:B5判 400頁、定価 3,773円（本体 3,430円）。

▽審査会= 2024年6月予定。結果発表は7月予定（主催者のホームページなど）。

▽各賞= 文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞（各1点）、審査員奨励賞（3点以内）、日本書籍出版理事長賞（6点）、日本印刷産業連合会会長賞（6点）、日本図書館協会賞、読書推進運動協議会賞、日本製紙連合会賞、出版文化産業振興財団賞（各1点）。

【申込・問い合わせ先】

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-2-30 共同ビル神保町 4階 JPIC 内
造本装幀コンクール事務局
TEL03-5211-7282

代表者変更のお知らせ

【東北支部】

●三栄印刷(株): 名古屋市北区下飯田町 1-14

塚本道代 (旧代表) ⇨ 塚本重雄 (新代表)

【西尾支部】

●(株)三州印刷: 西尾市矢曾根町赤地 5-7
斎藤和男 (旧代表) ⇨ 斎藤秀紀 (新代表)

事務所移転のお知らせ

●三信印刷(株) (阿部浩治社長) は、この程、社屋建て替えのため、令和6年3月4日から令和7年12月頃まで、事務所を下記に移転する。

移転先: 愛知県清須市阿原八幡 22
TEL052-409-0696、FAX052-908-1248

編集だより

■第15回ポスターグランプリの作品募集が決まりましたのでご案内しました。今回の作品テーマは「いいかげん」。15回目を迎え徐々に難しくなってきた、掴みどころのないテーマだと思いますが、テキストでない本格的な作品が寄せられることを期待したいものです。

日本書籍出版協会・日本印刷産業連合会

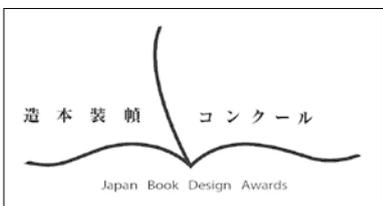
「造本装幀コンクール」作品募集中

締め切りは4月30日

日本書籍出版協会と日本印刷産業連合会は、第57回造本装幀コンクールの作品募集を行なっている。

造本装幀コンクールは、造本装幀に携わる人々（出版、印刷、製本、装幀、デザイン）の成果を総合的に評価する国内で唯一のコンクールになる。同コンクールは、「美しい本」づくりへの意欲を高めるとともに、造本技術・装幀デザインの素晴らしさ、本の持つ魅力を広くアピールし、ひいては出版文化産業の発展に寄与することを目的としている。

入賞作品はドイツ・ライプツィヒの「世界で最も美しい本コンクール」に日本を代表し出品され、さらに、フランクフルト・ブックフェアで展示される。



なお、出品書籍は主催者に寄贈されたものとし、公開展示後、国立国会図書館の「原装保存コレクション」として保存される。

【主な募集要項】

▽締め切り日= 4月30日（火）。

▽出品規定= 2023年1月1日から12月31日までに初版発行された書籍。

▽出品部門= ①文学・文芸（エッセイ）、②芸術書、③児童書・絵本、④専門書（人文社会科学・自然科学書など）、⑤語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史、⑥生活実用書・文庫・新書・双書・コミック・その他の6部門。

▽出品料= 1点（1冊）につき6,050円（税込み）。

あいちの印刷

No.629

令和6年4月10日発行

発行人 鳥原久資
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp



「あいちの印刷」誌上情報展

参加企業（順不同）

■株光文堂

〒460-0022 名古屋市中区金山2-15-18

TEL052-331-4111 FAX052-331-4691

URL:<https://www.kobundo.co.jp>

■富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)

中日本支社

〒460-8404 名古屋市中区栄1-12-17富士フィルム名古屋ビル

TEL052-201-8171 FAX052-203-5164

URL:<https://www.fujifilm.com/ffgs/ja>

■株SCREEN GP ジャパン

西日本・中部営業統括部名古屋支店

〒460-0003 名古屋市中区2-12-14 MANHYO第一ビル7F

TEL052-218-6400 FAX052-218-6411

URL:<https://www.screen.co.jp/ga/>

■リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)

営業本部西日本支社名古屋支社

〒468-0034 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL052-807-1671 FAX052-807-1577

URL:<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

■リコー(株)

〒451-6010 名古屋市中区牛島町6-1名古屋ルーセントタワー 10F

TEL052-527-6890 FAX052-527-6837

URL:<https://www.ricoh.co.jp/sales/about>

第18回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション(予定)

全日本印刷工業組合連合会では、全ての人に優しく、より多くの人が快適に利用できることを目的とするユニバーサルデザインの考え方に準じた「メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)活動」を推進しています。「情報のバリアフリー」を目的としたメディア・ユニバーサルデザインはこれからの大切なデザイン要素です。この取り組みの一環として、今年も「第18回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」の開催を予定しています。過去のコンペの詳細につきましては下記のサイトをご覧ください。詳細はあらためてご案内させていただきます。たくさんのご応募をお待ちしています。

メディア・ユニバーサルデザイン過去の事業
https://www.aj-pia.or.jp/mud/mud_mainpage.html

主催 / 全日本印刷工業組合連合会
応募期間 / 2024年9月募集開始予定
応募作品 / [例]・カレンダー・マップ・パンフレット・サイン・パッケージ
・チラシ・ポスター・ラベル・ゲーム(UNO、トランプ等)など
応募資格 / 一般の部 プロ・アマ問わず、どなたでもご応募いただけます。
学生の部 大学(大学院、短期大学を含む)・専門学校・高等学校
(高等専門学校を含む)に在籍している学生・生徒

応募・問い合わせ先
全日本印刷工業組合連合会
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4F
TEL/03-3552-4571 FAX/03-3552-7727

■KBDブランドの新製品披露

印刷機材の総合商社株式会社光文堂は、創業以来70余年の実績とノウハウを活かし、北は北海道、南は沖縄まで、24の拠点を足掛かりに全国津々浦々の印刷及びその関連会社様の活動をサポートさせていただいております。

今年も新春恒例となりました光文堂新春機材展「Print Doors 2024」を、1月24・25日の両日ポートメッセなごやにおいて開催いたしました。2日間、全国から多くの皆様にお越しいただき、成功裡に終えることができました。ご来場いただきました皆さまに誌上をお借りし厚くお礼申し上げます。新春機材展では、出展各社から優れた製品と共に、最新情報の提供がありました。光文堂からも数多くのKBDブランド製品を公開いたしましたので、「あいちの印刷」誌上情報展をお借りして、これらKBDブランド製品から、新製品を中心に紹介させていただきます。

光文堂は、これからもお客様と共に印刷ビジネスを考え、お客様の問題解決を図る真のソリューション企業として、皆さまのニーズにお応えし、全力でサポートしてまいります。より一層のご愛顧をいただきますようお願いいたします。

■自動給紙カッティングマシン

【KBD AUTO CTM 6080】

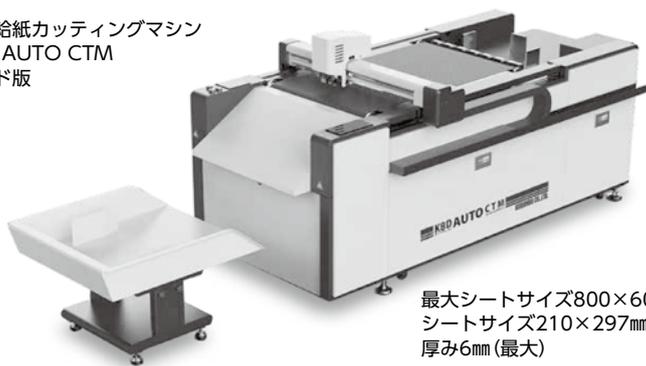
B2サイズまで対応のワイド版

「KBD AUTO CTM 6080」は、800×600mmのB2に対応した紙器・シール・ラベル（半・全抜き）の試作や少量多品種製作に最適な自動給紙カッティングマシンになる。今回のワイド化でより仕事の幅が広がり、また、仕様を見直したことで、生産性の向上と精度向上を図っている。

【主な機能】

- ①最大シートサイズ 800×600mm、最小シートサイズ 210×297mm。
- ②用途には、段ボール、ラベル、ボックス、KTカード、ステッカー、PPペーパーなどがある。
- ③従来の1,000mm/秒から1,200mm/秒にカットスピードを向上。
- ④BASLER CCDカメラを採用、自動トンボ認識位置合わせの速度と精度を向上。
- ⑤カットの厚みはタッチパネルから操作できるので、セット時間の短縮が可能。
- ⑥対応するデータ形式は、従来のDXF、

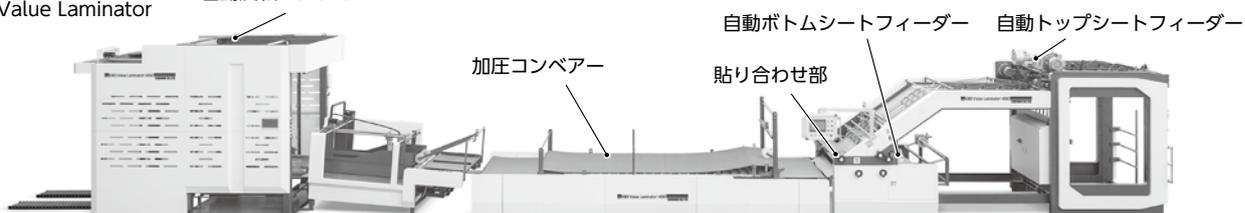
自動給紙カッティングマシン
KBD AUTO CTM
ワイド版



最大シートサイズ800×600mm、最小シートサイズ210×297mm、カットの厚み6mm(最大)

全自動貼り合わせ加工装置
【KBD Value Laminator 1450】

自動反転スタッカー



加圧コンベアー

自動ボトムシートフィーダー

貼り合わせ部

自動トップシートフィーダー

PLT、HPGLに加え、PDF、XMLに対応。

【仕様】

最大給紙高さ 100mm/重量 30kg、カットの厚み 6mm (最大)、最大カット速度 1,200mm/秒、カット誤差±0.1mm、赤外線センサーによる安全装置、機械サイズ 3,200×1,100×1,100mm。

※自動給紙カッティングマシン「KBD AUTO CTM」は、今回のワイド版に加えて、従来の530×750mmと400×699mmと併せ、3サイズのモデルがラインナップされた。

■各種印刷物を貼り合わせる

【KBD Value Laminator 1450】

全自動貼合加工装置

「KBD VALUE Laminator 1450」は、パッケージ印刷に欠かせないカラー印刷・化粧紙と段ボール、スチレンボード、板紙などを高速に貼り合わせ、仕上がりも平坦かつ美しく加工ができる、貼り合わせ加工装置になる。主に食品、酒類、家庭用電化製品、軽工業、繊維製品のパッケージ生産に活躍する。

【主な機能】

- ①タッチモニターで用紙サイズを設定するだけで、トップシートとボトムシートの正確な位置設定を行ない接着する。合紙精度は非常に優れており、全工程（糊付け、枚数計算など）を管理することができる。
- ②強力な吸引フィーダー方式を適用することで、曲がりのあるダンボールも安定して給紙する。
- ③サーボ制御により、高速でもフロントゲージの貼り合わせ精度は維持しているため、高効率・高生産が可能。
- ④トップ・ボトムともに自動給紙方式で、用紙の状態や状況に応じて、各吸引口の高さや角度を調整でき、安定した紙送りを実現している。



⑤アニロックスローラーを採用することで、接着剤が均一に塗布され、従来のネット柄ローラーと比較して、㎡あたりの接着剤使用量も大幅に削減される。

【仕様】

用紙サイズ：最大 1,450 × 1,450mm、最小 500 × 440mm、トップシート紙厚：120～450 g/㎡、ボトムシート：厚さ 0.6mm～9mm、板紙 250g/㎡以上、最大速度：153m/分、貼り合わせ精度：±0.75mm、機械サイズ：12,000 × 2,500 × 2,400mm。

■PDF 上のQR コードがタップできる

「KBD リンクリンク」

QRコードリンク先自動埋込アプリ

カタログやタウン誌など、印刷用に作成した PDF をそのまま Web 上にあげると、QR コードをタップしてもその先に飛ばない不便さがあった。この不便さを解消したのが「KBD リンクリンク」になる。PDF 内の QR コードを認識し、その QR コードのエリアに、リンク先を自動で埋め込む便利なアプリケーションである。

Web 閲覧時のフラストレーションをできる限り排除する、ありそうでなかった新発想の製品になる。

■オートフィードダイカッター

KBD DigiNukky500

デジタル印刷のフィニッシングに最適

新設計のダイカッター「KBD DigiNukky500」は、曲線のカット、特殊なクリースやミシン目などの加工を必要とするパッケージ、ユニークな形状のグリー



KBD DigiNukky500

ティングカードなど、人々が手に取った時に、ワクワクする気持ちを抱いてもらえるような、品質の高いアプリケーションを提供できる新世代のダイカッターになる。

＜機能＞

①フィードユニット：特許を取得している「Tri-suction feeder」は、印刷物の給紙を安定させる。

②カラータッチスクリーン：4.3 インチのカラータッチスクリーンは、直感的な操作でジョブ内容の変更や処理速度の調整、面付け機能の設定なども簡単に行なえる。

③メインユニット（プレユニット）：メインプレユニット部には、特許済の「可動式プレスローラー」機構を採用している。

④面付け機能：面付け機能が搭載されており、最大面付け数は 5 面まで対応。

⑤排紙トレイ：加工された用紙を受け取る排紙トレイが付属しており、排紙トレイは、X、Y 方向に角度を調整できる。

⑥さまざまなアプリケーションに対応：印刷物へのカット、クリース、ミシン目、穴あけ、エンボス加工などが行なえる。

＜アクセサリ＞

●ダイボードラック（付属品）：ダイボードとカッティングプレートの収納ができる。

●カッティングプレート（消耗品）：ステンレス製。硬い材質のため繊細な刃の高さ調整が必要。大ロットや長期間使用する場合に適している。

●カッティングプレート（消耗品）：アルミ製。柔らかい材質のため、ステンレス製に比べると調整はやり易い。小ロットや短期間の使用に適している。

＜仕様＞

●用紙サイズ：297（幅）× 420（長さ）～ 365（幅）× 515（長さ）mm、●最大仕上げサイズ：320（幅）× 505（長さ）mm、

●用紙厚さ：120～400gsm（用紙の品質による）、●最大処理速度：1,000 枚/時。

■QR コードチェック用ソフト

「KBD QRエビデンサー」

URLとリンク先サイトを一括確認

KBD QR エビデンサーは、PDF に配置された QR コードの情報を読み取り、UEL とリンク先のサイトのスクリーンショットを一覧にした検査ファイル（PDF）を書き出すソフトウェアになる。自動で膨大な QR コードのリンク先とサムネイルをチェックし、レポート（エビデンス）として提出、クライアントの信頼を得ることもできる。紙面にレイアウトされた QR コードの内容をチェックする時に大いに役立つ。

＜主なレポート機能＞

○QR コードの読み取り可否、○リンク先の URL とスクリーンショット、○pdf でクライアントへの提出も可能。

■インターネットからの注文専用

「KBDプロフェッショナル」

プロセス藍・紅・黄・墨の4色

国内産の高品質インキが何時でも 24 時間ネットで注文できる「KBD プロフェッショナルインキ」が登場した。同製品は、より高度な色再現を求める印刷物に最適なオフセット枚葉インキで、インターネット注文による専用製品になる。

KBD プロフェッショナルインキは、●ブロッキング適性とパウダー低減効果の向上 ●優れた印刷適性 ●ノンスキン性と乾燥性の両立などの特徴を持つ。

【導入メリット】

①即購入：光文堂インターネットショッピングサイト「K-Bazaar」から、何時でも、即、購入ができる。

②国内産：国内メーカーで開発された高品質なパウダーレスインキ。

③作業性：小ロット・即納・労働時間の短縮に貢献する高い作業性を実現。

④環境性：各種環境ガイドラインに準拠した、高レベルの環境調和型インキ。

【販売】

プロセス藍、紅、黄、墨の4色。光文堂インターネットショッピングサイト「k-bazaar」で販売。

<https://ec.kobundo.co.jp>

オフセットとの併用を可能にする『Revoria Press PC1120』

富士フィルムグラフィックソリューションズは3年前から『オフセット印刷機とデジタルプレスの共存による生産環境の最適化』をご提案してきました。

これはオフセット印刷機とデジタルプレスの特徴を活かして生産環境を最適化することで、印刷会社が成長分野へ再配分する経営資源(人材、設備、時間、資金)を生み出すご提案です。

近年、ますます増える小ロットのジョブを効率的に生産するには、やはりデジタルプレスの活用が有効です。しかし、オフセット機とデジタル機をよりシームレスに併用するには、デジタル機にオフセットと遜色のない印刷品質と高い稼働安定性が必須となります。

■オフセットとの併用を可能にする『Revoria Press PC1120』の高い基本性能

富士フィルムビジネスイノベーション製の『Revoria Press PC1120』は、これまでのPOD機とは全く異なる設計思想で「オフセット品質」と「高い稼働安定性」を実現したデジタルプレスです。

CMYKトナーに加え、シルバーやホホワイト、ピンクといった特殊色トナーを最大2色まで搭載が可能で、メタリックといった多彩な色表現が可能のため、付加価値の高い印刷製品の提案が可能になります。



■『Revoria Press PC1120』の品質・安定性を支える独自技術

<Super EA-Ecoトナー>

ミクロンレベルの極小トナーにより、オフセット印刷同等の解像度、網点品質や諧調再現を実現しています。また微細且つ均一な粒子のため、細線再現性や粒状感の低減、さらに定着温度の低下による消費電力量削減にも貢献します。

<用紙搬送部の設計>

用紙走行位置の高精度な制御が、薄紙(52g/m²)から厚紙(400g/m²)まで安定した紙送りを可能にしました。また、振動やサビに強いステンレス材や角パイプによる高強度なフレーム構造により、長期間にわたり高生産性・安定品質を実現しました。

<インラインの静電気除去装置>

インラインの『静電気除去装置(オプション)』により、フィルム用紙や蒸着紙といった静電気を帯びやすい用紙でも排紙の乱れや用紙の張り付きがスキルレスで抑制できます。

<検査マネジメントシステム>

新たに機能を拡充した『検査マネジメントシステム(オプション)』は、印刷中にリアルタイムで検査を行うため、検品作業の負担軽減など、効率的で安定的なデジタル機の運用が図れます。

『Revoria Press PC1120』の特徴を活かした高付加価値印刷

■偽造防止印刷

以下を使用することで一般的なコピーでは複製できず、専門知識が無くても真贋を判定することを助けます。

【ピンクやシルバーといった特殊色トナー】 コピーすると色が変わってしまう

【スプリットライン3本による細線表現】 オフセット印刷でも再現が難しく、コピーでは再現できない。

【マイクロテキスト】 コピーされた場合は文字が崩れて判読できなくなる。



■圧着トナーを使った高付加価値印刷

主にダイレクトメールで使われる圧着加工ですが、『Revoria Press PC1120』の圧着トナーを使えば、小ロットへの対応はもちろん、シルバーやピンクといった特殊色を使ったデザイン性の高い圧着加工の印刷がワンパスで行えるため、付加価値の高い印刷製品が効率的に生産できます。

【めくりくじ】

スクラッチくじの代わりに圧着で綴じた「めくりくじ」。特殊な技術は不要で、小ロットも効率的に作成できます。

【キャラクターカード】

ゴールドやシルバーを使ったレアカードも1枚から制作でき、開くまでキャラが見えないため、袋に入れる必要もありません。例えばご当地キャラのカードなど、コレクション性を高めることで、リピーター増にも繋がります。



富士フイルムグループは、課題の見える化から課題解決、運用の維持管理まで、お客さまごとの最適な生産環境の構築を、お客さまと一緒に実現します。ぜひお気軽にご相談ください。

「CTP▶DigitalPrint – デジタルで彩る印刷のカタチ –」

今後ますます需要が見込まれるデジタル印刷にどのように対応していくか注目されています。ソリューションプラットフォーム「EQUIOS」を中心にCTPワークフローからデジタル印刷へ展開するノウハウをご紹介します。

●校正業務の効率化とクライアントとの関係強化を実現するWebポータルシステム「EQUIOS Online」

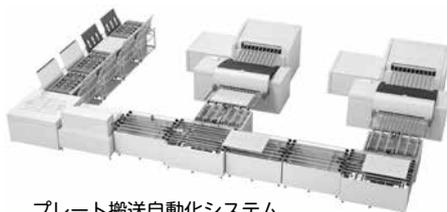
インターネットを介してクライアント・制作（DTP）・製版工程をシームレスにつなぐコミュニケーションツールです。校正履歴や進捗状況を関係者間でオンライン共有し、ミスやロスのない効率的な業務フローを構築。直感的に操作できるインターフェースを採用し、ジョブのリストや情報などを画面遷移することなく同一画面で確認できます。また、ユーザーごとに、操作権限を自在にカスタマイズして画面を設定でき、使用可能な操作メニューだけが画面に表示されるため、操作時に迷うことなく安心して使用できます。



●プレート搬送自動化システム

「ジョブ情報印字装置、自動版曲げ装置、刷版仕分け装置から構成される刷版出力工程の自動化システム。設置環境に合わせてユニットを組み合わせることで、フレキシブルなライン構築が可能です。刷版への印字、版曲げ、仕分け情報

EQUIOS からダイレクトに指示し自動化するため、人の手間を大幅削減。記載ミスや刷版取り間違いなどのヒューマンエラーをなくし、印刷事故を未然に防止します。



プレート搬送自動化システム

●本紙校正用インクジェットプリンター「Proof Jet F1100AQ」

前処理なしで印刷本紙に直接印刷できるカラープルーフソリューション「Proof Jet シリーズ」のハイスピード自動化モデル。自動給排紙を標準装備しており、同じ用紙サイズであれば異なる仕事でも連続して出力することが可能で、手間を大幅削減できます。CMYK インクに加えライトシアン、ライトマゼンタ、ライトブラック（オプションで蛍光ピンク）を搭載。最大印字サイズは 1,060 × 760mm で、最大印字スピードは菊全判サイズ、出力解像度 1,200 × 900dpi で約 11 枚/時。カラーマネージメントシステム「LabProof SE」により 1 bit TIFF 運用ができ、高精度なカラーマッチ

ングをしつつ、高解像度で網点を再現します。

※：印刷データ、用紙の種類に応じて変わります。



Proof Jet F1100AQ

●フルカラーバリアブルプリンティングシステム「Truepress JET 520HD シリーズ」

カラーモデル機として HD / HD + / HD AD の 3 モデルをラインアップ。HD AD に最も強力な乾燥機構を搭載し、HD / HD + / HD AD の順で乾燥能力が向上。また、オフセットコート紙への印刷はもちろん、高品質なフルカラー印字をさらに高速で実現します。最大 1,200dpi × 1,200dpi の色表現力と、最大 150 m/分の高生産性で商業印刷や出版印刷にまでも活用可能。モノクロ専用モデル機として、コンパクトボディの HDmono をラインアップ。ワークフロープラットフォーム「EQUIOS」では、MIS から後加工までの親和性を高め、プリプレスでの自動化・省力化を促進。インライン検査装置「JetInspection」では、バリアブル印刷の全面・全量検査が可能で、印刷不良箇所を検知します。



True Press JET 520HD AD

RMGT-CSPI とともに創る印刷の未来

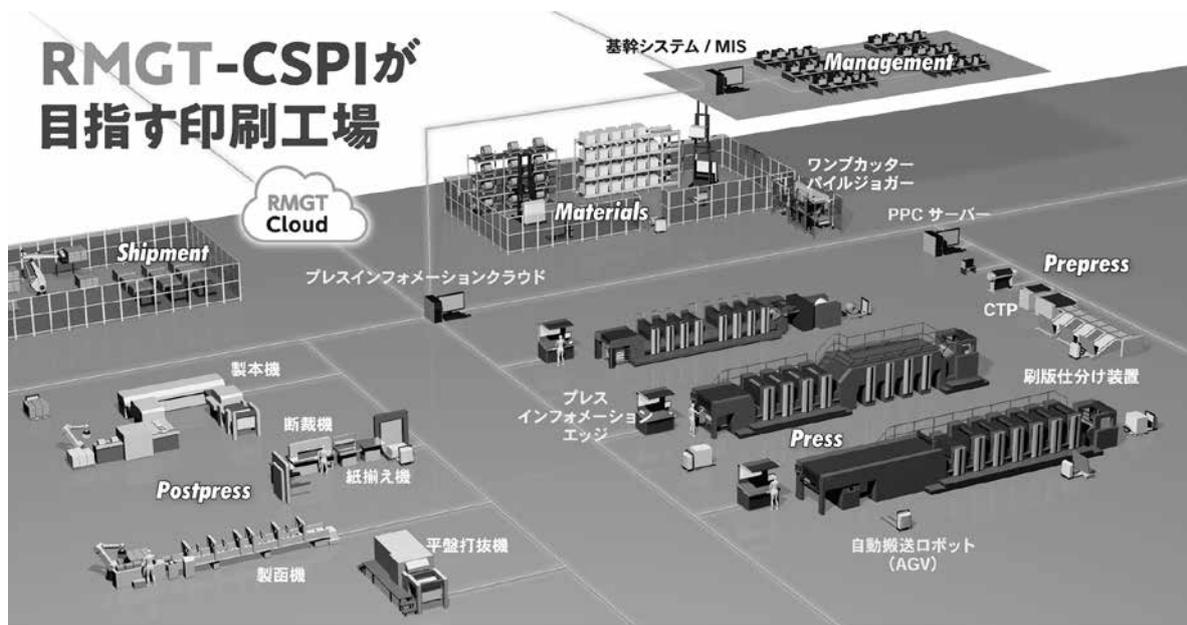
RMGT Consortium for a Sustainable Printing Industry (RMGT-CSPI) は、SDGs の達成を 目指す印刷会社様をパートナーシップでアシストします。

この取り組みは、印刷会社様が抱える多岐にわたる課題に対して、印刷資材、印刷関連機器、周辺装置、システムエンジニアリングなどに携わる様々な企業が垣根を越えて連携することで、新たな価値を共創していきます。そして、印刷業界が持続可能な成長を続け、参加企業が「これからも社会にとって必要とされる会社」となることを目指します。

RMGT-CSPI が目指す印刷工場のイメージと SDGs 達成を目指す印刷会社様をアシストする RMGT-CSPI の4つのカテゴリ

RMGT-CSPI は、オフセット印刷機を保有されている印刷会社様において、工場内の生産活動全般に対する SDGs 達成のためのソリューションを提案・具現化します。

「工程間連携」「自動化・省力化」「保全」「環境」の4つのカテゴリを設定し、パートナー企業による共創でお客様の課題に対するソリューションをご提案します。



SDGs達成を支援する4つのカテゴリ

<p>工程間連携</p> <p>印刷状況の見える化と分析 工程間連携の強化 IoTやDXの技術を活用して印刷会社の生産プロセスを見える化、最適化します。</p>	<p>自動化・省力化</p> <p>印刷工程の自動化/省力化 印刷前後工程の自動化/省力化 各工程のオペレーターをアシストする機器によって作業負担の軽減や生産性の向上を図ります。</p>	<p>保全</p> <p>予防保全 遠隔支援システム 予防保全を徹底し、万が一の故障時はスピーディな復旧支援を遠隔で行います。</p>	<p>環境</p> <p>環境負荷低減 労働環境改善 経営環境支援 環境や人にやさしい印刷資材や機器によって、働きやすい環境を実現し、環境への負荷を低減させます。</p>
---	--	--	--

印刷会社様の SDGs 達成のためのソリューションを提案、具現化する RMGT-CSPI。各分野の企業が連携し、お客様に寄り添いながら課題を解決・サポートします。

オフセットtoデジタル／オフセットwithデジタルに向けて

オフセット機の老朽化、人材不足、原価高騰など、デジタル化に本気で向き合わねばならない局面となり「デジタル化のニーズ」は確実に高まってきています。しかしながらデジタル印刷機における生産性やランニングコスト等の問題で、多くの印刷事業者ではオフセット印刷からデジタル印刷への移行が進んでいないのが現状です。

今回の誌上情報展では、デジタル印刷領域とオフセット印刷領域の中間ポジション(または両領域が重なるポジション)において、シームレスに両領域を繋ぐ[RICOH Pro Z75]と、[RICOH Pro VC80000]による、さらなる価値提供をご紹介します。



RICOH Pro Z75

リコーとして初となる印刷事業者向けB2サイズ対応の枚葉インクジェット・プリンティング・システムRICOH Pro Z75を2023年12月19日に発売開始いたしました。

「水性インクを用いたインクジェット枚葉機での自動両面印刷」という世界初の技術によって、高速・高画質・低コストで大量印刷を実現します。

RICOH Pro Z75に搭載している新開発のプリントヘッドは、これまでリコーが培ってきた技術に新規制御と温度調整機能を追加し生産性を向上し安定した吐出を行います。

また、インクはコスト面や環境面に配慮した水性顔料インクを採用。少ない量で液滴を形成できるため、インク量の最適化によるランニングコストを抑えた運用が可能となり、中小ロット印刷業務のデジタル移行を後押しします。

さらに、水性顔料インクで発生するコックリング(ひじわ)を強力に低減させる新開発の乾燥システムを搭載したことにより、両面印刷でも高品質な仕上がりを実現。乾燥にかかる待ち時間も削減し、後工程を含めたトータルでの業務効率化をサポートします。

生産性の面では最大で毎時4,500枚

(高生産モード)を印刷。最大で4トレイに計1万枚の用紙を積載可能です。トレイを分けることで、用紙が切り替わっても連続して運転することができるほか、用紙が切れた場合でも別の給紙トレイに切り換えて印刷を続けるリミットレス給紙を可能にしています。排紙部はオプションにより排紙ユニットを連結することができ、マシンを止めない運用を行うことも可能です。

対応用紙サイズは最大585×750mm。B2プラスまで対応したことで、多彩な面付や三つ折り・四つ折りサイズ、パッケージなどデジタル印刷の領域を広げます。

RICOH Pro VC80000

2024年2月29日には、ロール紙専用的高速インクジェット・プリンティング・システム「RICOH Pro VC80000」を発売いたしました。高品質・高生産性・工程の自動化をコンセプトとし、新開発

の水性顔料インクと最新のプリントヘッドだけでなく、印刷したい位置に正確にインクを着弾させるために用紙搬送精度を向上させる機構を採用しています。

RICOH Pro VC80000では、新インクを採用。インク自体の発色がよく少量で濃度を維持できます。さらに、加速中・減速中も印刷できる加減速印刷により、インライン加工機の実用性に柔軟に対応。マシンを停止せず生産が継続できるため、損紙を大幅に削減できます。

また、筐体内に標準搭載されたスキャナーやセンサーでインクの濃度、均一性をチェックし、リアルタイムに印刷精度を自動補正。画質調整のためにマシンを随時停止し、再調整することなく、高品質な印刷物を安定的に生産し、ダウンタイムやオペレーターの負担を削減します。

さらに、これまでそれぞれの機能別に行っていたヘッドのクリーニングや濃度調整などのチューニング作業を統合し、自動調整する項目を選択できるようにしています。タイマー機能も備えているため、印刷準備作業が自動で行われ、設定した時刻に生産を開始することが可能。生産性の最大化・準備時間の極小化を実現します。



美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

- グラフィックデザイン Graphic design
- ウェブデザイン Web design
- セールスプロモーションデザイン Sales promotion design
- エディトリアルデザイン Editorial design
- アドバタイジングデザイン Advertising design
- オンデマンドプリンティング On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070 FAX 052-528-1071 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz https://www.ad-wise.biz/



多言語に対応した
デジタルブックを簡単に作成
手軽に配信・快適に閲覧



MORISAWAは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、
スマートフォンやタブレット端末に
手軽に配信するサービスです。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511
紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507
皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518
地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 AXUAS

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <https://www.axuas.jp>

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



10530027(04) FSC® C015685

ISO 14001

ISO 9001

封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

- 封筒を補充する際のロスタイムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！
- 軽オフの更新時にご検討ください。



KING キングコーポレーション

CORPORATION
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング封筒



Challenging 2024 繋ぐ

KOBUNDO



KOBUNDO NEW PRODUCTS

自動給紙カッティングマシン

NEW

KBD AUTO CTM
オートフィーディング
カッティングマシン

B2/B3 サイズまで対応、
BASLER CCD カメラで早く、
正確なカッティングを実現！



全自動貼合加工装置

NEW

KBD Value Laminator I450

カラー印刷物をダンボールや
スチレンボードなどに貼り合わせる加工装置

パッケージ印刷にかかせない、カラー印刷・化粧紙とダンボール、スチレンボード、板紙などを高速に貼り合わせ仕上がりも、平坦かつ美しく加工できます。主に食品、酒類、家庭用電化製品、軽工業、繊維製品のパッケージ生産に活躍します。

High-speed Automatic Flute Laminator



放葉プロセスインキ

NEW

KBD プロフェッショナル

国内産の高品質インキが、
いつでも24時間ネットで
注文できる！

インターネット
注文専用製品



即購入

国内産

作業性

環境性

光文堂ショッピングサイト **K^{BY} BAZAAR**
KOBUNDO Online Shopping Mall
<https://ec.kobundo.co.jp/>

スマホに表示されたPDF上のQRコードがタップできる

NEW

KBD リンク



<http://www.kobundo.co.jp>



印刷機材の総合商社

株式会社 **光文堂**

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道
青森・山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄